



創立者加藤利吉先生の精神



仙台育英学園同窓会
会長 瀬戸 信男

盛夏の候、同窓諸兄弟の皆様におかれましては、益々ご健勝で過ごしのこと存じます。

同窓会は、同じ学園生活を送った卒業生が、世代を超えて縦横に結びつき、会員相互の親睦と、母校仙台育英学園の発展に寄与することを目的としております。日ごろ、同

学びを進める



学校法人仙台育英学園
理事長 加藤 雄彦

本年十月一日に創立一二〇周年を迎える仙台育英学園は、これまで社会の変化に柔軟に対応できる人材の育成を目指し、特色ある教育活動を展開してまいりました。特に、創立一二五周年に向けて策定した「U-Challenge25」に基づき、SDGsの実現に寄与するESD(持続可能な開発のための教育)にも積極的に取り組んでおります。

東日本大震災からの復興では、ハード・ソフト両面からの整備を進め、現在も教育環境の一層の充実に努めております。また、新型コロナウイルス感染症拡大期には、全国に先駆けてオンライン授業を導入し、学力向上と感染防止の両立を実現いたしました。これにより、生徒たちは全国・東北大会での活躍、東京大学をはじめとする難関大学への合格など、文武両道の顕著な成果を上げております。

中高一貫教育の秀光中学校と秀光コースでは、持続可能な世界の構築に貢献によって貢献できるグローバルシティ

発行所 仙台育英学園同窓会
〒983-0045 仙台市宮城野区
宮城野二丁目4-1
TEL 022-256-4141
編集 仙台育英学園
発行人 同窓会事務局
印刷所 本田印刷株式会社
TEL 022-288-5231

窓会活動に深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。さて、二〇二四年(二〇二五年)の冬は日本海側を中心に雪が多く降り、特に青森県酸ヶ湯では一月二日に積雪深が四mを超えました。冬期一月二日までに積雪深が四mに到達したのは全国で統計史上最も早い記録で、例年に比べて寒い日が多くありました。ここ数年は暖冬が続いていたこともあり、久々に冬らしい寒さを感じた人も多かったのではないのでしょうか。

二〇二五年の夏は「ラニーニャ現象」により再び猛暑が予想されております。沖縄地方では六月八日に梅雨明けの発表がありました。こちらも統計開始以来最も早い梅雨明けとなり、全国的に梅雨明けが早まる可能性が高いという事です。六月中旬で三十四度を超えております。熱中症を防ぐために、屋外では日なたを避けたり帽子をかぶって直射日光を避け、活動時を含めて水分と塩分こまめに補給しましょう。

母校においては、四月五日(土)に令和七年度仙台育英学園高等学校全日制課程入学式が挙行政され、六つのコースの新入生と秀光コースを含めた計一、〇一〇名の新入生が仙台育英学園高等学校の第二二〇期生として学園生活をスタートさせました。

ズン(地球市民)の育成を目指しております。学習の方法として国際バカロレア(IB)のMYP・DPを取り入れることで世界基準の学びを実践するとともに、開校以来の教育の柱である Language, Music & Science を深化させています。中でも、イマージョン教育、英語歌舞伎、サステナブル農業教育などで新たな探究的・体験的な学びの実践に挑戦しています。

全日制課程では、医歯薬系進学を目指す特別進学コースのMAP、国際人に必要な国際的視野を育む外国語コースのケンブリッジ国際教育、アントレプレナーシップ(起業家精神)をスポーツビジネスの分野で育む英進進学コースのBTECプログラムなど、多彩なコースを設けております。なお、秀光コースのIB、外国語コースのケンブリッジ国際教育、英進進学コースのBTECといった三つの国際教育プログラムを一つの高等学校で認定を受けている事例は世界的にも稀であり、日本国内では本校のみとなります。併せて、外国語コースでは環境教育活動も積極的に進め、環境省から表彰を受けるなどの成果を挙げております。

進学指導においては、「70%CLUB」統括推進委員会を中心に、全校で大学進学率の向上に取り組んでおります。二〇二四年度は大学進学率六十四%と過去五年間で高水準を維持してまいり、今後も七十%を目標にさらなる指導の充実を図ってまいります。特に秀光コース、外国語コースにおいては、海外大学への進学準備も進められており、国際進路も見据えた体制が整っております。

広域通信制課程では、青森・沖縄を含む全国展開を行い、丁寧な個に応じた指導により、卒業率に加えて現役での進

加藤雄彦校長先生は式辞の中で、「仙台育英学園は創立以来様々な困難に直面してきましたが、学園創立者である加藤利吉先生は、その都度負けつちやなく、利吉先生の故郷福島県会津若松市で負けたくないと意味の他に、「へこたれたくない、何があってもあきらめない」という意味でもあります。そしてその言葉の通り、一九四五年の仙台空襲で校舎が全焼してしまっただけで、諦めずに再建を果たしました。このような歴史が逆転の仙台育英という精神を形成し、現在まで受け継がれているのだと思います。学園の長い歴史と伝統を尊重しながら、誇りを持って行動し、八万人の同窓生の期待に応えるような高校生活を送って下さい」と新入生に温かい激励の言葉を掛けられました。加藤雄彦校長先生のこの式辞を同窓諸兄弟の皆様にはよく胸に刻んでいただきたいと思います。

また、四月九日(水)には仙台育英学園沖繩高等学校が三十三名の新入生を迎え「第三期生入学式」が挙行政されました。入学式を含めた母校の現況、後輩の進路・部活動の状況等については、学園のホームページをご覧になって頂きたいと存じます。

最後になりますが、母校の益々のご発展と加藤雄彦理事長・校長先生・加藤聖一秀光中学校校長先生はじめ、諸先生方並びに会員皆様のご健勝とご多幸を祈念して、挨拶いたします。

学・就職といった進路決定率の向上を目指しています。近年では国公立・私立大学への進学者も多数輩出しており、大学進学は通信制課程においても重要な成果として位置づけられています。

二〇二三年に開校した仙台育英学園沖繩高等学校では、ICT教育とアントレプレナーシップ教育とに注力した特別教育を、各教科での「学び方を学ぶ」ことに注力した個性最適な学習によって下支えし、進学や就職、起業といった多様な進路に対応しています。三年次では一人一人が創業計画書を書き上げ、うちなー育英祭で起業家のピッチコンテストのように発表し、その後は創業計画書に沿った企業HP案を作ります。

学園全体としては、東和蜜雪校舎での研修を通じて建学精神を学ぶ機会を設けるとともに、植物工場を活用した持続可能な農業教育や農産物販売にも力を入れております。また、教職員向けの研修体制やシラバス作成支援など、指導力向上への取り組みも継続しております。

さらに、就職希望者への支援も手厚く、求人票のデジタル化や個別対応を進めた結果、二〇二四年度は就職希望者全員が内定を得て、就職率一〇〇%を達成しました。今後とも生徒一人ひとりの希望に寄り添いながら、進学・就職いづれかの道にも的確に対応できる教育体制のさらなる充実を目指してまいります。

同窓生の皆様からの変わらぬご支援、特に東日本大震災からの復興のシンボルである宮城野校舎へのご寄付を改めてお願いいたします。

学校法人仙台育英学園創立120周年おめでとうございます
国際ロータリー第2520地区 世界における親善と平和の確立をめざして
理事長・校長 加藤雄彦先生
2025-2026ガバナーご就任おめでとうございます。

進 取



秀光中学校
仙 台 育 英 学 園 沖 縄 高 等 学 校

校 長 加 藤 聖 一

二〇二五年四月より秀光中学校の校長を拝命いたしました加藤聖一です。二〇二三年より沖縄県沖縄市にある仙台育英学園沖縄高等学校の校長を務めており、このたび両校の校長を兼任することとなりました。

仙台育英学園が宮城県外に初めて全日制課程を設置した仙台育英学園沖縄高等学校、そして本学園初の全日制課程校として一九二二年に加藤利吉先生が開校された仙台育英中学校を源流とする秀光中学校。その両校の校長を務めることは、私にとって大変光栄なことでもあります。

本学園は、同窓生の皆様が在学中、そして社会において活躍されたことにより、一二〇年の歴史を紡いでまいり

— 秀光中等教育学校同窓会



仙 台 育 英 学 園 同 窓 会 秀 光 櫛 の 会

会 長 石 垣 光 一 朗
(平成十六年卒)

仙台育英学園同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、仙台育英学園同窓会「櫛の会」の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

秀光は、平成八年に仙台育英学園 秀光中学校を開校して以来、今年で二十九年目を迎えました。この間、六年間一貫教育の特色を生かし、学問・スポーツ・国際交流の各分野において数多くの成果を挙げ、全国、さらには世界で活躍する卒業生を輩出してまいりました。

そして本年、新たに加藤聖一校長先生をお迎えし、新体制の下でさらなる発展の歩みを進めております。加藤校長

ました。その歩みの中で、建学の精神である「自治進取」が学内の随所に芽吹き、社会の要請に先んじて応える校風が育まれております。初めて本校を訪れる方々からは、挑戦を続ける本学園の姿勢に高い評価をいただいております。

私が皆様に本学園の「自治進取」の精神をご紹介する際には、「建学以来、本学園は一二〇年間ベンチャー企業である」と申し上げております。これは、中長期的な成長を支える持続的イノベーションを重視している姿勢を表すものです。同時に、破壊的イノベーションによって急成長を目指すスタートアップの価値観、特に「非常識を常識に塗り替える」姿勢を受容し、取り組むことも本学園の発展には不可欠であると考えております。

教育事業における持続的イノベーションの一つの核として、本学園では国際教育プログラム「国際バカロレア（IB）」を秀光中学校および仙台育英学園高等学校に導入いたしました。秀光中学校の校長就任に伴い、私のミッションは、秀光が引き出す資質・育成する能力を踏まえた国際バカロレア教育の深化と進化であると自覚しております。

の豊かなご経験と卓越した指導力のもと、秀光は時代の変化に柔軟に対応しつつ、未来を見据えた教育の推進に取り組んでおります。卒業生としても、この新たな船出を心より期待し、応援申し上げる次第です。

私ども「櫛の会」は、秀光生の同窓会組織として、比較的若い組織ではありますが、これまで会員相互の親睦を深めるとともに、母校の発展に寄与すべく活動を積み重ねてまいりました。ホームカミングデイの開催に加え、在校生を対象としたキャリア講演会の講師選定などの支援、学校行事や課外活動への協力など、少しずつではありますが活動の幅を広げつつあります。

「櫛」の名には、強くしなやかに大地に根を張り、着実に成長を遂げる櫛の木のように、卒業生一人ひとりが社会の中で力強く、そして誇りをもって歩んでいけるように、との願いが込められております。私たちの活動が、卒業生間のつながりを強めるだけでなく、母校と在校生の支えとなり、ひいては仙台育英学園全体の発展につながることを切に願っております。

今後は、仙台育英学園全体の同窓会の皆様との連携を一

東北で唯一、MYP・DPによる中高一貫教育としての国際バカロレアの実践を、秀光の生徒・保護者・教員の皆様とともに定着させる「深化」。そして、秀光が開校以来掲げてきた教育の柱「Language, Music & Science」と国際バカロレアの教育実践を融合させる「進化」。この両面に向けて、力を尽くしてまいります。

また、スタートアップの価値観への挑戦として、仙台育英学園沖縄高等学校では、既存の学校教育では取り組みが困難な領域に挑戦しております。推薦入試・就職・起業に特化した教育課程の編成、ICT分野の国家資格（ITパスポート・情報セキュリティマネジメント）の取得推進、三〇〇万円規模の株式投資を行う投資部の創設、地元企業から出資を募り、生徒が疑似株式会社を立ち上げて販売活動・配当までを体験する起業教育など、先進的な取り組みを展開しております。

今後も「[Job]」の一翼を担う者として、「進取」の精神を大切にし、挑戦を続けてまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

層深め、仙台育英学園の卒業生としての自覚と誇りを胸に、世代を超えたネットワークの構築と発展に尽力してまいりますと存じます。

結びに、母校 仙台育英学園のますますのご発展と、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます、寄稿のご挨拶とさせていただきます。



仙 台 育 英 学 園 沖 縄 高 等 学 校 ・ 秀 光 中 学 校

加 藤 聖 一 校 長 先 生

ご 就 任 お め で と う ご ざ い ま す 。

同窓会支部報告

令和六年度同窓会(本部)役員会・総会・懇親会

令和六年八月三十一日(土)、仙台市青葉区「パレスへいあん」にて、役員会・総会・懇親会が開催されました。

午後四時からの役員会では、令和六年度活動方針や予算案について事務局からの考えに対し意見交換が行われ、前向きな議論が交わされました。

午後五時からの総会には約六十名の同窓生が出席。尾形茂樹PTA会長よりご挨拶を賜り、令和五年度の活動報告など承認されました。

午後六時からの懇親会には約七十名が参加。久道周彦副会長の乾杯のご発声で和やかに開宴し、参加者による自己紹介も行われました。世代や卒業コースを越えて、高校時代の思い出を語り合う姿が印象的で、初参加の方も常連の先輩方も交流を楽しむ様子が見られました。

懇親会の終盤には、参加者全員で校歌を斉唱し、締めくくりには岩沼支部長・安藤利夫様より力強いエールを頂き、同窓生の皆様のご健勝と母校のさらなる発展を祈念し、盛会のうちに閉会いたしました。

なお、令和七年度の役員会・総会・懇親会は令和七年八月三十日(土)に開催予定です。事前申込は不要ですので、ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。多

くの同窓生の皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。



総会にて 瀬戸会長



総会にて 尾形茂樹PTA会長



総会にて 庄司賢一衆議院議員

本部からのお知らせ
同窓会総会のお知らせ
八月三十日(土) 役員会
十六時〇〇分 総会
十七時〇〇分 懇親会
十八時〇〇分 へいあん
場所・パレスへいあん

東京支部 第四十三回東京支部総会

昭和四十二年卒 支部長 末永 佑己

令和六年十一月二十四日(日)中央区銀座二丁目銀座ベルビア館の「バグースプレイス」において第四十三回東京支部総会・懇親会が開催されました。若い菅原幹事(女性二名)の尽力で、久しぶりに多くの若い方々が参加され四十七名(参加予定者四十七名)の参加を頂きました。

また、多忙の中、本部同窓会の瀬戸会長他多くの役員の方が出席され学校の近況等を紹介していただきました。

前回の会場は、天井が低く上部屋が狭く、地下二階までの移動にエレベーターが使えませんでしたが、今回の会場は場所も分かりやすく空間が広くエレベーターもあり参加された方も満足されたことと思います。

第四十四回東京支部総会・懇親会の会場は昨年と同じ会場での開催を計画しています。二名の女性幹事が加わったことを踏まえ、新しい企画を含めて若い方々にも楽しんで頂けるように努力致しますので是非参加をお願いします。

始めての方がリビターとして来て頂けるよう幹事一同東京支部存続のために努力致しますので多くの方の参加をお待ちしております。

また、友人に関東在住の方が居られたら関東に東京支部があることをお知らせ頂けると幸いです。

第四十四回 東京支部総会・懇親会 (QRコードからも申込みます)



申込フォーム: <https://forms.gle/RUYTYtDHWsUjGm3M8>

開催日: 令和七年十一月三十日(日) 時間: 十二時〇〇分~十五時〇〇分

会場: バグース プレイス 東京都中央区銀座二丁目四一六

銀座ベルビア館 電話: 〇三ー五五四一三九九一 学生会 三、〇〇〇円

連絡先: 末永 佑己 電話: 〇九〇ー一六九四一八四二七



硬式野球部OB会

令和七年二月一日(土)、仙台市のTRKにおいて令和六年度仙台育英学園高等学校硬式野球部OB会総会、及び新年会が開催されました。

OB総会では、日頃の活動報告や次年度の活動計画等が決まりました。その後の新年会では、野球部の猿橋部長、須江監督、日野、高橋コーチも参加していただき、昨年の振り返りや、今年にかける思いを伝えていただきました。

OB会、そして現場のスタッフの思いが一つになり、今年の夏の甲子園を目指していきます。

OB会に参加していただきました関係者の皆様、ありがとうございます。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

開会式終了後、仙台育英学園剣道部男女の模範稽古を行います。スピード感溢れる内容となり中学生の目の輝く素晴らしい稽古を披露してくれました。

来年度は、剣育会七十周年と第三十回を迎える記念の年になります。剣道部一丸となって頑張ります。



第二十九回 杜の都中学校選抜剣道大会報告

中学生の熱気と猛暑のなか日々の稽古成果を競いました。

七月五日(土)第五回杜の都中学校錬成会は大郷ブラップ21で開催、七月六日(日)第二十九回杜の都中学校選抜剣道大会が仙台育英学園高等学校多賀城校舎グロリーホールで行われました。

今大会は、青森県を除いた東北五県・埼玉・栃木・茨城・新潟より過去最多の五百八十六名の中学生が集結、男子五十八チーム・女子四十八チームの参加となり各県からレベルの高いチームが集まり一回戦より技と気迫のこもった迫力のある真剣試合が繰り広げられました。

開会式終了後、仙台育英学園剣道部男女の模範稽古を行います。スピード感溢れる内容となり中学生の目の輝く素晴らしい稽古を披露してくれました。

来年度は、剣育会七十周年と第三十回を迎える記念の年になります。剣道部一丸となって頑張ります。

来年度は、剣育会七十周年と第三十回を迎える記念の年になります。剣道部一丸となって頑張ります。

◎大会結果は下記の通りとなります。

男子優勝 東那須野中学校・旭中学校合同(栃木)

第二位 一戸中学校(岩手) 第三位 泉水館(茨城) 第三位 酒田第三中学校(山形)

女子優勝 土崎道場(秋田) 第二位 勝平中学校(秋田) 第三位 東部中学校(山形) 第三位 楓凜館鹿角道場(秋田)

剣育会会長 千田 直樹

報告者 事務局 酒井 俊治



男子優勝 栃木県 東那須野中学校・旭中学校合同

女子優勝 秋田県 土崎道場

《同窓生からの寄稿文》

商業科
昭和三十九年度卒
昭和三十九年度卒

千葉 東

昭和三十三年三月、三十九年、在高時代の思い出等々を頭の中に入れて、思いの限り、事、全て、思いのままに簡易書きでつづりました。

私の自己紹介、昭和二十一年六月二十一日、宮城県黒川郡大和町鶴巣大平字窪川二十二の一番地で出生です。十人兄妹、九男一女、十番目生まれ。農家。鶴巣小、中学校卒。小中は主に米作り、野球、マラソン得意な少年時代。中学時代、野球、マラソン、郡大会では全て上位入賞です。中卒間近、良し、仙台育英入学。野球部に入学して甲子園、と入試に励み、無事合格。中学同窓会が、一番目の合格にビックリ。よし、野球部に入部。絶対に甲子園と同じ級生に誓い、毎日わくわくで登校でした!!しかし、いざ入部希望とグラウンドに行くと見ると、一年生部員百人以上グラウンド所せましと満員。一週間迷っていました。バツクネット裏うろちろして、そこに、吹奏楽部、飯田先輩に口説かれ、野球部入部断念、プラスチックバンド入部。一年生時代は、先輩の楽器運びにサックス。授業終了後、サックスの練習に明け暮れました。一年間あつと申す間、昭和三十八年七月の修学旅行。北海道一周の旅でした。直ぐ夏の甲子園予選の応援。毎日、授業は二、三時間。吹奏楽部は、サッカー部、レスリング部等々の応援に、スポーツ全体の成績も良く、仙台市内バレー、石油スタンド放送局開局、等々。甲子園大会宮城予選(第四十五回記念

大会第四十六回大会出場でした。一年先輩に投手大島敏夫、外野手山本多聞。同学年に金沢規夫、倉橋寛、後輩に加藤俊夫等々の選手最強メンバーでした。二、三年生同級生に倉橋寛君が。席は私の後に譲り、三年まで担任の後、いびきかいて寝てました。六十年後、母校同窓会で再び会時に寝てはかりだったね、と聞くと「俺は朝三時に起床、新聞、牛乳配達で登校時は寝る事が楽しみ」と六十年後に本人から聞く事出来納得でした。まあ、と格、一、二年生、甲子園に行く事が出来ました。甲子園大会第四十五、四十六回大会、吹奏楽部も一緒。宿泊、堺市、東光学園、木田院長、経営(青春のうた参考)。大先輩でした。昭和三十七年、昭和四十年までの高校時代でした。昭和四十年三月卒業後は、愛知県、名古屋老輔医療衛生器械株式会社八神商店へ。(その後八神商事K.K.昭和四十年三月、七月内勤、昭和四十年七月十五日より営業担当地域名古屋市内の薬局、薬店担当でした。薬しみは土、日は会社組合の野球。七月は名古屋場所見物。当時は名古屋場所は午後五時から全面開放で、無料で見学。昭和五十年位まで。日々の仕事に精力的で。営業所新設西區、熱田区、岡崎営業所。最後は瀬戸市物流センター。五十五歳勤務に終了しました。自分の歩んだ

り合って ゆっくりだけど 前だけを見て みんな兄弟と 歩いて来た道 ※道(昭和四十年三月、昭和四十五年九月、名古屋市内担当) この道は、どこへ繋つて行くの、誰にも分からない、誰も知らない、でもこれだけは確かに言える。 ※道(昭和四十五年、昭和五十年、岡崎市) この道は明日へ続く、この道は夢へと続く、この道を見つめて行こう ※道(昭和五十年、五十二年、名古屋熱田区) 晴れた日には競いながら雨の日には励まし合ってライバル達とかけた絆(社長の為に、自分の為の仕事) そんな小、中、高校迄の人生、会社勤務生。 さて会社退職後、介護職に七十五才迄に祖母、両親兄、姉に孝行のつもりで頑張つて、思い、二十年間、あつと申す間の月日でした。 残りの人生は大好きな野球観戦歴史散策特に薬局、薬店、介護職で御世話に成った人々に、恩人達に何に成役した事を心に掛けて日々残りの人生を送って行きます。 ※道(残り)の人生、気の向くままに) この道はどこへ向って行くの、誰にも見えない、教える、でもこれだけは確かに言える。 ※道(昭和二十一年六月二十一日、昭和四十年一月) まつすぐな道、笑いなから、デコボコ道は、手を取

この道を見つめていこう
我が人生に悔いなし。全て人々に感謝、感激、感動、です。最近後輩達の頑張りにも感謝です。

南溟遙か天翔る
鴻鶴棲みし青葉城
あ、松島や千賀の浦
天の恵める青葉郷
こ、に根ざしし育英の
我が学舎に栄光あれ

普通科教養コース
平成三年度卒
榴岡天満宮 宮司
菅野 棟之

今思えば、母校での高等学校の基礎を厳しくも暖かく学ばせていただいた時期でありました。当時の恩師は二名の方で、現在ではとても会話にすらできない戦々恐々とした日々のご指導を賜りましたが、不思議なことに決して嫌になることはありませんでした。それはどうしてと自問すれば、双方の恩師共に確固たる信念を貫き、正面より背中まで語りかけていた姿が、私の心では凛々しく映っていたのであり、また私自身の不甲斐なさと照らし合わせていたためでもあり、暖味な答えしか口に出出来ませんし、恩師たちの精神が現在でも私の指針と成り、この道は夢へと続く、この道は夢へと続く、この道を見つめて行こう ※道(昭和五十年、五十二年、名古屋熱田区) 晴れた日には競いながら雨の日には励まし合ってライバル達とかけた絆(社長の為に、自分の為の仕事) そんな小、中、高校迄の人生、会社勤務生。 さて会社退職後、介護職に七十五才迄に祖母、両親兄、姉に孝行のつもりで頑張つて、思い、二十年間、あつと申す間の月日でした。 残りの人生は大好きな野球観戦歴史散策特に薬局、薬店、介護職で御世話に成った人々に、恩人達に何に成役した事を心に掛けて日々残りの人生を送って行きます。 ※道(残り)の人生、気の向くままに) この道はどこへ向って行くの、誰にも見えない、教える、でもこれだけは確かに言える。 ※道(昭和二十一年六月二十一日、昭和四十年一月) まつすぐな道、笑いなから、デコボコ道は、手を取



ります。人が人に教えるを説き、学ぶ姿勢を知ることが教育であると江戸期のある論学者が口にしており、私自身がその得た解答ではないかと思ひます。学びは楽しみもつかり合、人を成長させるすべである。と恩師たちから耳にしたことを先日のように思い出します。学びは若いうちにはかき、きないし申す方もいれば、生涯学びは終えることはないとうい申す方もおいでしよう。 私は前者でも後者でもなく、学びとは競うものではない、楽しむものであり、学びたいときに人は必ず学びに行き着くと教わりました。 当時の私には全く申しはいいほど、心に響くことはございませんでしたが、ふとした時に昔を思い出し自問自答することがございませんでした。 「思い返したときに人は学び返して、教わったことが身に成る。」 「振り返ることが出来ないのであれば、学びは終わりを迎えることなどない。」 恩師たちは何気なく口にした私を始めたときの当時の生徒に投げかけたかは、今となっては確かめようがございませんでした。 ですがそんな恩師たちの言葉が現在の私には言葉と成り、この道は夢へと続く、この道は夢へと続く、この道を見つめて行こう ※道(昭和五十年、五十二年、名古屋熱田区) 晴れた日には競いながら雨の日には励まし合ってライバル達とかけた絆(社長の為に、自分の為の仕事) そんな小、中、高校迄の人生、会社勤務生。 さて会社退職後、介護職に七十五才迄に祖母、両親兄、姉に孝行のつもりで頑張つて、思い、二十年間、あつと申す間の月日でした。 残りの人生は大好きな野球観戦歴史散策特に薬局、薬店、介護職で御世話に成った人々に、恩人達に何に成役した事を心に掛けて日々残りの人生を送って行きます。 ※道(残り)の人生、気の向くままに) この道はどこへ向って行くの、誰にも見えない、教える、でもこれだけは確かに言える。 ※道(昭和二十一年六月二十一日、昭和四十年一月) まつすぐな道、笑いなから、デコボコ道は、手を取

り、未熟な証であり、恩師との回想であること感じる。これが礼節の原点。そして仙台育英出身の誇りの糧となるように今は感じております。 皆さんも、ご自身が高校生であった当時の仙台育英の授業の風景や友人たちとの思い出を、回想されてみては如何ですか。

秀光中等教育学校
令和四年度卒
Middlebury College Class of 2022
Economics / Sociology
笹川平和財団奨学金 第9期生
浅利 樺音

仙台育英での学びを
アメリカで活かす
現在、経済学と社会学を二重専攻しています。一見相反する学問領域ですが、利益の追求といったロジカルな側面と、その裏で駆け巡る社会の集団的感情の矛盾を探求しています。その中でも教育の平等や社会格差を主に研究し、毎日夜遅くまで課題に明け暮れる日々です。 アメリカ生活も二年が経ちました。つい先日実家の掃除をしている際に高校時代のノートを見つけた、まあよく頑張つて勉強していたなあ、と自分でも誇りに思いました。また、仙台からよくアメリカの名門大学に通っているね、と驚かれることもよくあります。そんな時に自信を持って「高校時代たくさん頑張つたからです」と言える時間を過ごせたいのは、仙台育英の先進的な学びへの取り組みと、新しいことに挑戦したいと思つた時に全力で背中を押してくれた先生方、そして一緒に頑張つた仲間たちのおかげです。 アメリカでお近くに足を運ばれることがございましたら、ぜひ仙台育英に負けない素敵な大学校舎をご案内させていただきます。(kanon.asari@gmail.com)



中等教育学校に入学し、二〇二三年に仙台育英学園秀光コースを卒業いたしました。在学時にはなごなな部・インターアクト部に所属し、六年を通し国際パカロレ(IA)のリーダーを務め、二年ほどですが、先生方や仲間たちとの日々を思い出して懐かし気持ちはついでです。二〇一七年に秀光

り、未熟な証であり、恩師との回想であること感じる。これが礼節の原点。そして仙台育英出身の誇りの糧となるように今は感じております。 皆さんも、ご自身が高校生であった当時の仙台育英の授業の風景や友人たちとの思い出を、回想されてみては如何ですか。 現在、経済学と社会学を二重専攻しています。一見相反する学問領域ですが、利益の追求といったロジカルな側面と、その裏で駆け巡る社会の集団的感情の矛盾を探求しています。その中でも教育の平等や社会格差を主に研究し、毎日夜遅くまで課題に明け暮れる日々です。 アメリカ生活も二年が経ちました。つい先日実家の掃除をしている際に高校時代のノートを見つけた、まあよく頑張つて勉強していたなあ、と自分でも誇りに思いました。また、仙台からよくアメリカの名門大学に通っているね、と驚かれることもよくあります。そんな時に自信を持って「高校時代たくさん頑張つたからです」と言える時間を過ごせたいのは、仙台育英の先進的な学びへの取り組みと、新しいことに挑戦したいと思つた時に全力で背中を押してくれた先生方、そして一緒に頑張つた仲間たちのおかげです。 アメリカでお近くに足を運ばれることがございましたら、ぜひ仙台育英に負けない素敵な大学校舎をご案内させていただきます。(kanon.asari@gmail.com)

第69回育英祭

獅子奮迅 ～ 咲き誇れ chamomile ～

2025年 10月11日(土) 10:00～16:00

10月12日(日) 10:00～14:50

仙台育英学園高等学校多賀城校舎



第5回・第6回 OPEN CAMPUS in TAGAJO 同時開催!!
ぜひお越しください。詳しくは左QRコードから本校HPへ!!



120年の歩みが、 未来をつくる。



みなさまのご支援のおかげで、
仙台育英学園は2025年10月1日に
創立120周年を迎えます。

伝統ある歴史と、
時代とともに進化し続ける学びを、次の世代へ。
これからも伝え続けていきます。

入学生募集のご案内

令和8年度 仙台育英学園高等学校 入試日程

特待生・部活動特待生採用選考、自己推薦選考

2026年1月14日(水)

一般入学試験

A日程 2026年1月29日(木)

B日程 2026年2月2日(月)

全てのコースの
入学特典など
詳しくはこちら!



学校法人

仙台育英学園



CAMBRIDGE
International Education
Cambridge International School



Pearson



BTEC

UPAA Japan

秀光中学校 仙台育英学園高等学校 仙台育英学園沖縄高等学校

<https://www.sendaiikuei.ed.jp>